

大学と企業とのパートナー連携を目指して 産学官技術交流会を開く

トップニュース Top News



産学連携について意見を交わすパネリスト
= 11月10日、工学部秀峯会館で

11月10日、金沢大学、中小企業総合事業団(財)石川県産業創出支援機構の共催で「産学官技術交流会 - LINK21 -」を工学部秀峯会館で開催した。“産学連携による大学の社会貢献”と“企業と大学の技術交流”を目的に、北陸地方では初の試みとなった同会では、講演やパネルディスカッションを通じて、技術移転の必要性や産・学の様々な違いなどを意見交換することができ、参加者は150人を超えるほどの盛況であった。



多数の企業と連携・交流

また会場には、本学教官や県内企業の研究者の研究内容を紹介するパネルの展示コーナーも設けられ、訪れた参加者は、相互に良い刺激となり、今後の連携に向けた有意義な交流の場となったようだ。

本学では、今回、共同研究センターが主導となり、産学連携を進めてきた。同センターは着実に産学連携の架け橋となりつつあり、今後も活躍が期待される。

産学ともたくさんの研究者等が訪れたパネル展示コーナーの様子
= 同上





巻頭言

オコゼとボラと月と



学長 補佐
(法学部教授)

畑 安次

もう十数年前に同じ標題で短い文章を書いた記憶があるが、内容は覚えていない。さて、ボラをご存じだろうか。穴水湾の「ボラ待ち漁」で有名な魚であり、ハクに始まりオボコ、イナを経てトドに終わる出世魚である。「トドのつまり」の語源はここにある。ところで、そのボラはなぜあのように高く飛び跳ねるのか。子どもの頃に祖母から聞いた昔話が、この歳になっても記憶に残っている。「オコゼはボラを婿に欲しいと言ってせがむのやが、ボラはお月さんと一緒になりたいと言って飛び跳ねるのや。」

次に、オコゼをご存じだろうか。グロテスクな体と敵めしい顔つきをしているが、美味な白身の魚である。海底に棲息しており、とりわけ体表に猛毒を含んでいて頭部や背びれの棘に触れると危険である。このオコゼが敵

めしい顔つきと猛毒をもって迫るのであるから、ボラが逃げようとして飛び跳ねるのはよく分かる。月は説明するまでもない。ただし、この話の月は、ウサギが餅をついていた頃の月である。

祖母の話にどのような教訓が含まれていたのかは記憶にない。そこで考える。「大学改革」やら「独立行政法人化」やらの議論が喧しい昨今ではある。オコゼの美味には心ひかれるところであるが、その猛毒には要注意である。仄聞するところでは、昨今の日本のボラは海底に潜るか八方破れの跳ね方をしているそうである。オコゼの美味に魅せられてその猛毒を忘れたのか、ウサギが餅をついている「理念型の月」を見失ってしまったのか。そろそろ季節に入ったアンコウ鍋を賞味しつつ考えてみたい。

“ 名誉教授懇談会 ”に懐かしい顔が集う

11月16日、市内のホテルを会場に、恒例の「学長と名誉教授との懇談会」が催され、58名の名誉教授の皆さんが、各々懐かしい思い出話や近況を語り合って、旧交を温めた。



和やかに進んだ懇談会の様子
= 11月16日、ホテル日航金沢(金沢市本町)で



あいさつする林勇二郎学長
= 同左



乾杯の音頭をとる東正雄名誉教授(元教育学部)
= 同左





「平成11年度金沢大学永年勤続者表彰式」を挙行

11月24日，大学会館で「平成11年度金沢大学永年勤続者表彰式」が行われた。

今回は，金沢大学永年勤続者96名及び文部省永年勤続者2名の計98名に対して，林勇二郎学長からお祝いの言葉と表彰状が贈られた。

また，式典終了後，会場を移して祝賀会が催された。



関連の写真もう一枚を裏表紙にカラーで紹介

謝辞を述べる代表
= 11月24日，大学会館(角間)ホールで

— 金沢大学フォーラム(第1回) —

独立行政法人化問題における大学の在り方を探る

11月27日，「国立大学の独立行政法人化問題説明会」と題して「平成11年度金沢大学フォーラム(第1回)」が開催された。今回は，独立行政法人化問題について，文部省の杉野剛高等教育局大学課大学改革推進室長を講師に迎えたこともあり，土曜日にも関わらず，400人を超える教職員が集まり，真剣な表情で最新の情報に聞き入っていた。

また，引き続いて行われた懇談会では，9月に発足し，活発に検討を重ねている独立行政法人化問題検討委員会の委員と，より踏み込んだ意見交換がなされた。



現状と今後の方策を具体的に，わかりやすく説明する杉野室長
= 11月27日，文・法・経済学部で



様々な質問が挙がった懇談会の様子
= 同上



規制緩和と暮らしの関係をテーマに シンポジウムを開催

ともに今年で50周年を迎えた日本学術会議と本学の共催により、11月6日、シンポジウム「21世紀の暮らしと地域をつくる - 規制緩和と地域生活」が催され、たくさんの一般市民が会場となった石川県教育会館ホールを訪れた。シンポジウムでは、行政改革の一環として打ち出される規制緩和が地域社会に及ぼす影響などについて、介護・福祉サービス、教育、労働、産業といった四つの分野の研究者から講演が行われた。



介護・福祉サービスの観点から講演する講師・荒木誠之氏(九州大学名誉教授)
= 11月6日、石川県教育会館ホール(金沢市香林坊)で



活発な意見交換が行われた懇談会の様子
= 11月10日、教育学部附属教育実践総合センターで

教育学部附属教育実践総合センター 石川県教育センターと意見交換

11月10日、教育学部附属教育実践総合センターを会場に、同センターと石川県教育センターとの「教員養成及び現職教員研修に係る懇談会」が開かれた。これは、大学と学校教育現場との交流を通じて、教員養成と教師教育(研修)の在り方について理解を深めることを目的としており、今回は、県側から芝田克彦センター長をはじめ9名が、本学からは金子勲榮教育学部長ほか、センターの教官等5名が出席し、活発な意見交換がなされた。

教養教育運営委員会研究調査部主催で 平成11年度 第3回公開講演会を開催

11月12日、教養教育運営委員会研究調査部主催で本年度3回目の公開講演会が、「高校教育と大学教育の接続」と題して行われた。

今回は、大学入試センターから荒井克弘教授を講師に招き、高校と大学の教育接続の視点から講演が行われた。会場となった総合教育棟には、本学の教職員のみならず、市内の大学、高等学校関係者らが出席し、同氏の講演に熱心に聞き入った。



熱心に耳を傾けるたくさんの参加者
= 11月12日、総合教育棟で

外国語教育研究センター特別講演会で 21世紀の外国語教育を考える

外国語教育研究センターは、11月16日、「慶応義塾大学湘南藤沢キャンパスの未修外国語教育」をテーマに、同大学の関口一郎教授を講師に迎えて、講演会を開催した。

同教授は、同キャンパスの外国語教育履修制度などを説明し、具体的には、第一外国語を一年半集中的に学習する(第二外国語はその後でないとはじめることができない)インテンシブ授業等を紹介した。興味を引く内容の講演に、参加者からの質問は多く、引き続いて行われた懇談会でも終始、意見交換が続いた。



21世紀に向けてますます重要度を増す外国語教育について講演する関口教授
= 11月16日、総合教育棟で





資料館がおもしろい!

常設展「hands on! - 四高物理実験機器のある風景」を実施中

資料館では、現在、常設展として「四高物理器械」を紹介している。これは、11月1日から5日間、特別展として展示したところ、大変好評であったため、急ぎよ3月いっぱいまで展示することになったもので、第四高等学校で使用されていた物理実験機器を展示している。

今回は“見る”だけでなく、“hands on(ハンズ オン)”として、実際に触って当時さながらの実験を体験することができる。器械の少なかった昔の工夫と知恵が実感でき、実におもしろい。一見の価値有り。



手に取って、間近で見ることができるよう低い位置に配置された展示物
= 11月2日、資料館で



特別展に訪れ、趣向を凝らした展示を楽しむ林勇二郎
学長
= 同上

今後、常時開館(月~金 13:00~15:00)
常設展として順次館蔵品紹介をする予定

“hands on(ハンズ オン)” の魅力語る

11月5日、特別展示と連動して、公開講演会「ハンズ・オンの魅力～children's museumの現場から」が催され、現在、幅広く博物館などで活躍されている染川香澄氏(京都市生涯学習振興財団理事等)を講師に招いて“hands on”の魅力についての講演が行われた。



講師の染川氏
= 11月5日、資料館で

11月の研修スナップ

● パソコン研修

期 日: 11月16日~18日
受講者: パソコンを利用する
事務職員3コース
149名
場 所: 事務局大会議室



「ワード」の研修風景
= 11月16日、事務局大会議室で

● 平成11年度 ホームページ研修

期 日: 11月29日
~12月3日
受講者: ホームページ実務
担当(予定)者
23名
場 所: 総合情報処理
センター



ホームページ作成の実習を受ける受講者
= 11月29日、総合情報処理センターで

本学へのお客さま(11月)



ロシア科学アカデミー極東支部副総裁バレンチン・セルギエンコ教授(写真右)
= 11月26日、学長室で



ロシア・モスクワ大学哲学部長ヴラジミル・ミロノフ教授(写真中央)
= 11月30日、学長室で



寮祭前夜祭盛り上がる!

11月13日、北溟寮と白梅寮で寮祭の前夜祭コンパが行われ、林勇二郎学長らが招待された。林学長は寮生の歓声で迎えられ、とりわけ白梅寮では、貴重な男性の一人としてフォークダンスの輪に入って大いに楽しんだ。

その後、寮生たちは、泉学寮も加わって3寮合同で手作りみこしをかつぎ、大通り沿いを掛け声も勇ましく練り歩き、祭を楽しんでいた。



趣向を凝らした各寮のみこしをかつぐ白梅寮生たち
= 11月13日、白梅寮周辺で

“職員スポーツ大会” — 表彰式を行う

毎年恒例となっている職員スポーツ大会の表彰式が、11月19日、事務局大会議室で行われ、ソフトボール・卓球・硬式テニス・ボウリングの四種目の入賞チームと入賞者に表彰状と副賞が贈られた。

なお、成績については裏表紙に掲載。



ソフトボール優勝の表彰を受ける職員
= 11月19日、事務局大会議室で



KUPIS (キューピース) 情報

金沢大学ホームページ
—— 本学「公式ホームページ」の面白い情報を紹介するコーナーです。 ——

クリック順

トップページ

▶ NOW! ▶

研究活動資源
ディレクトリ

国内の研究機関や研究者に関する情報を、広く一般に提供し、産学の連携による共同研究や学際的な研究の促進を図ることを目的として、文部省学術情報センターによって実施されているページ。ちょっとした探し物のときに、研究機関・研究者ごとに検索できるので大変便利。なお、情報源は、毎年、行われている同センターによる大学等への調査。(ただし、この調査は全教官について掲載されているとは限らない。)

アドレスは — —
<http://www.kanazawa-u.ac.jp>

その9 研究活動資源 ディレクトリ



「研究活動資源ディレクトリ」のトップページ





秋の叙勲で本学関係者3名が受章

11月3日、平成11年度秋の叙勲受章者が発表され、本学関係では、次の3名の方々が栄えある勲章を受章した。



勲二等旭日重光章
あおの しげあき
青野茂行 氏
(名誉教授, 元学長)



勲六等宝冠章
いいた やすこ
飯田泰子 氏
(元医学部附属病院
看護婦長)



勲六等単光旭日章
しまだ やすひろ
島田裕弘 氏
(元医学部附属病院
診療放射線技師長)

磨伊正義教授(がん研究所)が “北國文化賞”を受賞

11月3日、北國新聞会館(金沢市香林坊)で「第53回北國文化賞」の贈呈式が行われ、本学の磨伊正義教授(がん研究所)が受賞した。同教授は、消化器がんの基礎的研究で指導的役割を果たし、がんの早期診断・治療に努めていることが、高く評価された。



現在、がん研究所長の要職も務める磨伊教授

本学関係者2名に “文部省教育者表彰”

このたび、学校教育振興に顕著な功績のあった人に贈られる本年度の文部大臣表彰(教育者表彰)の被表彰者として、本学から教育学部附属高等学校の瀧野勲副校長と同附属幼稚園の松本陽子副園長が選ばれた。



瀧野 勲 副校長
(教育学部附属高等学校)



松本陽子 副園長
(教育学部附属幼稚園)

島健一運転手(庶務課) “交通安全表彰”を受賞

このほど、長年にわたり交通安全のために尽力し、交通事故の防止に貢献があった人に贈られる「中部管区警察局長・中部交通安全協会協議会長賞」に島健一運転手(庶務課)が選ばれた。



いつもピカピカの官用車と共に

来春の入試要項を発表

このたび、来春の一般入試の学生募集要項が発表された。出願手続は、今回から学生部入試課に窓口が一本化され、すべて郵送で受け付ける。募集要項の詳しい内容は、次のとおり。

分離分割方式(前期・後期日程)
募集人員 前期日程が1,372人(前年1,439人)・後期日程356人(前年366人)
出願期間 前後期とも1月24日~2月2日

試験日 前期日程2月25日・後期日程3月13日
合格発表 前期日程3月9日・後期日程3月22日
出願状況のテレフォンサービスも行っている。
(076-264-5299)

編集後記

1999年も後わずかで西暦2000年へとバトンタッチします。今回のバトンタッチは、今までとは違い西暦2000年問題への対応を抱えています。本学でも年末年始にかけて、ゲストハウスに「コンピュータ西暦2000年問題対策室」を設置して関係機関との連絡調整にあたります。コンピュータ西暦2000年問題への対応も心配ですが、

今、国立大学も独立行政法人化問題、大学改革等、改革に必要な法律等の整備が急ピッチで進んでおります。今後の展開はどのようになるのでしょうか。しかし、教職員の皆様には、新しい年が素晴らしい年でありますことを心からお祈りいたします。

(山崎)



永年勤続者表彰を受けた方々
= 11月24日, 大学会館で(関連記事は3ページ)

平成11年度職員スポーツ大会成績

	優 勝	準優勝	第3位
ソフトボール	本部A	本部B	教育学部 工学部B
卓 球 (団体)	医学部	本部A	工学部
(個人男子)	山戸 博晃(工)	南野 友義(医)	鳥羽 陽(薬) 白石 昌武(医)
(個人女子)	田端裕美子(本)	熊谷 直美(医)	橋爪由美子(医) 山本久美子(本)
硬式テニス	本部C	理学部A	工学部A 本部B
ボウリング (団体)	工学部A 北村,佐成,野村	本部F 糸崎,伊藤,川端	本部G 中野,池端,福川
(個人)	宮口 泰廣(本)	佐成 伸一(工)	中西 雅男(工)

(関連記事は6ページ)

皇居駅伝 本学チーム健闘!!

11月6日, 文部省主催の第7回全国国立学校等教職員駅伝大会が開催され, 本学から計12名の選手が参加した。このうち, 男子チームは75チーム中36位(1周5キロの平均タイム21分11秒), 女子チームは9チーム中5位(同25分29秒)と, とともに昨年度の順位を上回った。

[多くの方々の御支援に対し, 心から感謝申し上げます。
— 選手一同]



力走を誓って記念の一枚
= 11月6日, 皇居桜田門内で

平成11年12月17日発行
(原則として毎月1回第3週に発行)

〒920-1192 金 沢 市 角 間 町
金沢大学庶務部庶務課研究協力・広報係

TEL 076-264-5019
FAX 076-234-4010

本紙の内容, その他本学に関する諸情報については, 「金沢大学ホームページ 愛称 “ KUPIS ” (キューピーズ) 」
(アドレス = <http://www.kanazawa-u.ac.jp>) でもご覧いただけます。
本紙に関する御意見・御要望などは, 電子メール (E-mail) = general1@kenroku.kanazawa-u.ac.jp でも受け付けています。